

山梨中央ロータリークラブ

Rotary International District 2620
Yamanashi Chuo Rotary Club 2015-2016

事務所

〒409-3812

山梨県中央市乙黒 158-2 (山梨ビジネスパーク (株)カルク内)

TEL 055-273-5344 URL <http://yamachuo-rc.net/>

FAX 055-273-8010 E-mail rotary@yamachuo-rc.net



世界への
プレゼントになる

Weekly Report

会 長 樋貝 浩久

副会長 石原 満彦

幹 事 田中 雅承

副幹事 小池 章治

会 計 田中 雅貴

会 報 石原 満彦

2015~2016 RI 会長
K.R. "ラビ"ラビンドラン

【例会日】
毎週金曜日 12:30 ~ 13:30

第 2620 地区 ガバナー
野口 英一

【例会場】
(株)カルク (055-273-5344)

2015 年 9 月 30 日 第 1693 回例会

本日のプログラム

野口ガバナー公式訪問 合同例会

会長挨拶

「フッ素入り歯磨き粉は危険！」

会長 樋貝 浩久

本日の小ネタは「フッ素入り歯磨き粉は危険！」です。

フッ素入り歯磨き粉は危険！がんや骨肉腫(こつにくしゅ)、ダウン症の原因との指摘も有るそうです。

歯医者さんで虫歯予防として、フッ素の使用を勧めたり、複数の歯磨き粉メーカーからは、フッ素入り歯磨き粉が発売されています。

歯磨き粉メーカーでは、「フッ素は歯の表面を酸に溶けにくい性質に改良し、乳歯は軟らかいので、歯質強化につとめましょう」との記述が見受けられます。

厚生労働省も、永久歯のむし歯予防手段にフッ素による歯磨きを推奨しています。

フッ素は危険性も多く指摘されています。濃度の高いフッ素を摂取した場合には、吐き気、腹痛、下痢、心不整脈、昏睡といった急性中毒症状が起きる可能性があり、低濃度であっても慢性中毒が起きることがあります。

アメリカでは多くの地域で、水道水にフッ素

が添加されており、斑状歯(はんじょうは。エナメル質形成不全)と呼ばれる歯の色が極端に白くなり、表面がザラザラになる症状が多く見られ、骨硬化症(こつこうかしょう。フッ素症)と呼ばれる骨の異常が現れます。

加えて、詳細は解明されていませんが、フッ素との関連が示唆されているものとしては、発育期の少年に見られる骨肉腫、若い母親からのダウン症児の出生、といった危険性が指摘されています。

特に注意したいのは、フッ素を摂取する年齢が若ければ若いほど発がんの危険が高まることです。フッ素は、特定の部位の発がん率を上げるのではなく、全体としてがんの発生を増加させるといわれています。例えば日本でフッ素を水道水に添加した場合、全国でがん患者が3万人増えるとする推計もあります。

飲み込んだフッ素は、まず胃の中で毒性の強いフッ化水素酸に変わり、血液に乗って全身を巡ります。フッ素は成人では約90%が尿中に排泄され、残りは骨に沈着しますが、子供は、30~40%が骨に沈着するといわれています。これにより、骨の異常やがんの発生率が高まると考えられていますが、2003年に厚労省が集団によるフッ素歯磨きを推奨したことから、実施している保育園や幼稚園、小学校があるようです。

使用については慎重に検討しましょう。

幹事報告 幹事 田中 雅承

1. 2014～2015年度第2620地区岡本一八ガバナー事務所より、岡本年度の「地区会計報告書」が届いておりますので、回覧致します。
2. 「第27回ふるさとを描く子ども絵画展」の進捗状況を、卓話の時間にお知らせ致します。
3. 次回25日の例会は、9月30日（水）に行われます野口ガバナー公式訪問例会により振替休会と成りますので、お間違えの無い様、再度お知らせ致します。
4. 「2015～2016年度長期青少年交換学生・募集案内」が届いておりますので、回覧致します。

尚、希望の方がおりましたら、申込期限が今年10月20日（火）頃までですので、幹事までご連絡下さい。

5. 例会変更のお知らせ

☆甲東南ロータリークラブ☆

10月2日（金）の例会は「ガバナー公式訪問例会」の為 会場の変更

日 程：10月5日（月）

点 鐘：午後6時30分

場 所：「甲府富士屋ホテル」

（市内8クラブ合同）

TEL：055-253-8111

10月16日（金）は「特別休会」

前回の例会記録

第1692回 出席報告

会員数	免除	出席者	欠席者	出席率	メイクアップ	前回の修正出席率
11名	0名	8名	3名	72%	4名	100%

届出欠席者 小池 章治君 田中 雅貴君
林 美喜枝君

届出失念者 なし

出席免除者 なし

メイクアップ 田中 雅貴君 原田 哲君
竹野 満君 鮎川 一明君

ビジター なし

備考 なし

ニコニコBOX

• なし

★奨学生レポート

「ロータリー理念と国際医療協力（1）」★

米山記念奨学生 駱 予倩さん

◎ハンセン病夏季大学◎

日本に来て毎年8月の第1週は、東京の東村山にある国立療養所多摩全生園で行われる、日本科学技術振興財団及び実行委員会が主催する、ハンセン病夏季大学講座のお手伝いをさせていただいております。例年通り、今年は8月3日から7日の間、第37回ハンセン病夏季大学講座のお手伝いに伺わせていただきました。夏季大学は私にとって、すでに夏の風物詩のようなものになっているのです。

ハンセン病夏季大学講座は、ハンセン病を病気として理解を深めるだけでなく、病気になった人を理解し、ハンセン病と社会の関わり、その歴史、さらに国際医療協力も理解するために企画されたものです。受講生に、医学、看護学、社会保健、福祉学、国際医療の生徒や関係者が多いです。新規患者がほとんどいない日本において困難な点を考慮して、講師として、現役の多摩全生園の医師や看護師、国立感染症研究所ハンセン病研究センターの研究者、途上国で国際医療第一線で働いている先生たちが、臨床的な事項から入り、社会的な面、基礎病理や細菌学な面まで講義で解説します。（つづく）



次回のプログラム 10月9日（金）

米山奨学生卓話 駱 予倩さん